個人差諸概念布置のための図式の提唱

○廣島 克佳

(航空自衛隊 航空開発実験集団 航空医学実験隊)

キーワード：個人差，布置図式，選抜

Proposition of a diagram to dispose concepts of individual differences

Katsuyoshi HIROSHIMA

(Aeromedical Laboratory, Air Development and Test Command, Japan Air Self Defense Force)

Key Words: individual difference, disposal diagram, selection

目 的

選抜の予測精度を向上させ、適性処遇交互作用に見られるように各個人の特性を把握して教育・訓練を効果的に行うことは、個人、組織及び社会全体にとって多くの利益がある。

これら選抜等は性格や知能等の個人差即ち十分に長期間継続する行動、認知、情意等の傾向を前提としている。個人差概念は極めて多くの種類があるばかりか、それぞれが異なった観点から定義されており、共通性や通底する次元等が相互に想定されていない。このため、選抜検査等を構築する際にテスト項目が不足や重複を来す可能性がある。選抜検査バッテリーの妥当性確認には長期間と多額の費用がかかるのであり、この問題は潜在的に重大である。

本考察では、個人差各概念を列挙して考察・整理し、一定の図式の中に配列して各概念を領域化することで選抜等の適正化を図ることを目的とする。なお、同一個人の経年による性格の変化や能力向上等も個人差の範疇と見做す。

方 法

個人差概念として、ビッグ・ファイブ、知能、学力、コンピテンシー、興味型、認知スタイル、スキルベース及びルールベース行動 (Rasmussen,1983)、を取り上げ、これら諸概念に共通する側面を抽出し、2次元平面へ各概念を位置づける図式を構築した。

次にこの図式にビッグ・ファイブの下位因子、知能の下位因子、確かな学力 (中教審, 2003)、キー・コンピテンシー (Rychen et al.,2003)及びごまかし勉強 (藤沢, 2002)を位置づけることで、利用可能性を検討した。

結 果

個人差諸概念に通底する第1の次元として、“能力 $\longleftrightarrow$ 行動傾向・情意・動機づけ”が設定可能と考える。第2の次元として、“背景的・構成要素的 $\longleftrightarrow$ 具体的・場面固定的”が設定可能であるとする。“行動を生成する構成要素を組み合わせることで生活体は新規な問題や場面に適応する”と定義することで、本次元が設定可能となる。(Figure)

性格と知能及び認知スタイルの対比に例を取れば、知能は適応のために限界まで発揮され得る情報処理の側面と定義される。認知スタイルは、特定の情報処理様式が発揮される傾向である。よって、これら3概念は、図式の比較的左側に縦に配列されるべきものとなる。

本図式の利用可能性を例示的に考察する。

人材選抜においては、採用者を育成するか、特定技能を持つ人材を採用して即戦力とするかの対極的な方針が存在する。この方針はそれぞれ“具体的・固定的” $\longleftrightarrow$ “背景的・構成要素的”の次元に対応するが、能力 $\longleftrightarrow$ 行動傾向の次元は別問題であることを提示できる。

“確かな学力”やキー・コンピテンシー領域は、従来の学力領域よりも左・下に位置づけられ、“知能”及び“性格”領域に接近しているが、知能及び性格には生得的要因の寄与が大きく後天的要因の制御方法には未知の部分が多い。そこで、この方向への学力観の移行は教育の具体的目標と手段を喪失しかねない面があることが読み取れる。

ごまかし勉強は、テスト場面においてのみ適切な行動を取れるようにすることを意味するため最も右側に位置し、未知の状況に適応する能力の一部たる学力ではないことが了解可能となる。

引用文献

- 中央教育審議会 (2003.10.07). 初等中等教育における当面の教育課程及び指導の充実・改善方策について (答申)
 藤澤伸介 (2002). ごまかし勉強、新曜社
 Rasmussen,J.,(1983).Skills, Rules, and Knowledge: Signals, Signs, and Symbols, and other distinctions in human performance models, IEEE transactions on systems, man and cybernetics, Vol.SMC-13, No.3, 1983
 Rychen,D.S.,et al..(2003).Key Competencies for a successful life and a well-functioning society, Huber Publishers

Figure: Diagram to dispose concepts of individual differences

考 察